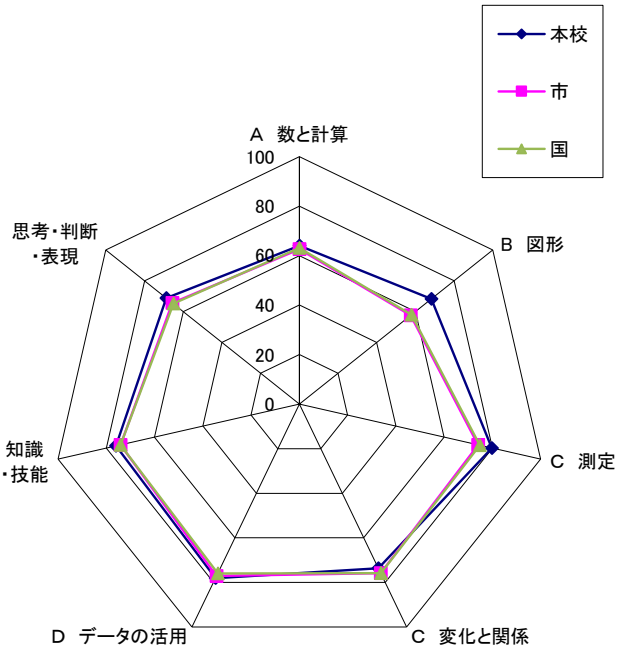
宇都宮市立桜小学校第６学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A　数と計算	64.0	62.6	63.1
	B　図形	68.2	57.5	57.9
	C　測定	79.8	74.1	74.8
	C　変化と関係	73.6	75.8	75.9
	D　データの活用	78.1	77.1	76.0
観点	知識・技能	76.0	74.1	74.1
	思考・判断・表現	68.8	65.6	65.1
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
A　数と計算	○市や国の平均正答率を上回っている。 ●基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述する問題では，市や国の正答率を下回っている。	・日頃の計算練習の中においても，答えに至るまでの道筋を説明できるような学習活動を，定期的に取り入れていくようにする。
B　図形	○市や国の平均正答率を，約10%上回っている。 ○図形の構成の仕方を捉えて，面積の求め方と答えを記述する問題では，市や国の正答率を約20%上回っている。	・今後も引き続き，図形の基本問題だけでなく，授業の中で複数の図形を合わせた図形から求積する問題などの応用問題に取り組み，思考の道筋・考え方を指導していくようにする。
C　測定	○市や国の平均正答率を上回っている。 ○図形の面積を比べる問題では，市や国の正答率を約10%上回っている。	・今後も，立式して自分の考え方を確かめながら答えを導いていくように指導していく。
C　変化と関係	●市や国の平均正答率をやや下回っている。 ○分速と距離からかかった時間を求める基本的な問題の正答率は市や国を上回っている。	・「単位量当たりの大きさ」に関する内容は今後の算数・数学の学習においても重要な内容の一つであるため，改めて習熟を図るようにする。
D　データの活用	○市や国の平均正答率を上回っている。 ●帯グラフを見て，示された特徴をもった項目と割合を記述する問題では，市や国の正答率を上回ったが，無回答率が約11%となっている。	・グラフの読み取りについて，理科や社会科等，他教科とも連携を図りながら，学習活動を進めるようにする。